



発行人 藤井 信吾

◆発行 行 取手新時代をひらく会
◆発行責任者 池田 徳光

◆URL http://www.fujii-shingo.com E-mail:hirakukaishingo@ybb.ne.jp
◆事務所 〒302-0004 取手市取手2-14-24 竹内ビル2階 TEL&FAX:0297-72-5616

平成30年度

予算策定に当たって

未来づくりのベクトルを明示



取手市長
藤井 信吾

……30年度予算をどう捉えているか……

平成30年度当初予算が議会でも可決され、4月1日より新年度がスタートします。平成30年度予算は、取手の次のステージを描く新たな転機となる予算になると思います。それは次の理由からです。

一点目は、地域の注目度の象徴となる数字が社会増減(「転入」と「転出」の差)に表れると私は考えておりますが、平成29年1月～12月実績で、取手市の転入超過数が「マイナス6」となり、長年続いていた転出超過の構造が止まりつつあります。(表参照)今年度は、是非ともプラスに転ずるよう一層の努力をしていきたいと存じます。

二点目は、「公共施設の耐震化・大規模改造」について、まだ改修を要する施設が残っているもの、市役所の庁舎の耐震化も終了しておりますし、長年の地道な取り組みの結果で、剣が峰は乗り越えられたのではないかと認識しているからです。(事例写真参照)取手市民会館については、楽屋、ロビー、トイレ、空調と改修を行って来ていましたが、30年度には9億6千万の予算をかけて、客席内の椅子のリニューアルや音響、照明の取り換えを行い、市民の文化、芸術の場の再整備が整うこととなります。その他、吉田保育所と舟山保育所を統合し、東部地域子育て支援センターの機能を含めた「井野なないろ保育所・地域子育て支援センター」の整備費用(8億8千万)も計上しております。(図①参照)

法人市民税が以前と比較して大きく減少してきたことやかつての就業世代が現役を退いたこと等による個人市民税の減収等、きびしい財政運営のもと、ここまで公共施設整備

……取手の次のステージとは?……

三点目は、取手市総合計画や都市計画マスタープランを通して、「未来づくりの指針(ベクトル)」が明示されてきた取手市に「民間の力」が、本格的に参入してくるタイミングではないかと考えていることです。

3月定例議会において、多くの議員から取手駅西口A街区再開発事業ならびに桑原地区区画整理事業についての活性化の観点から期待する向きの質問、ご意見をいただきました。西口A街区につきましては、平成24年に市議会で、「取手駅西口地区の活性化早期実現を求める請願」が提出され、採択された経緯もあり、関係権利者の皆さんで構成する取手駅西口A街区共同化事業検討会が設置され、検討が進められてきました。昨年末に市街地再開発事業に豊富な実績とノウハウを持つ事業協力が選定されましたので、今後、事業協力の者の技術的な助言を受けながら、駅前への利便性を高め、人の交流やまちの活力を創出する事業計画が進展し

平成20年度から平成30年度までのトレンドを通して確認をいただければと存じます。(図②参照)

を進めて来られたことに一区切り感といった感慨を禁じ得ません。

行革により人件費を減少

させるとともに、扶助費が

増大する中でも、市民サー

ビスを支えるインフラ整備

のために普通建設事業費の

維持確保に腐心したことを

維持確保に腐心したことを

維持確保に腐心したことを



<事例写真> 永山小学校教室棟改築後外観



<図①> 井野なないろ保育所・地域子育て支援センター完成予想図

していくものと考えています。市が先行的に主体となって整備をしてきましたB街区のウェルネスプラザや歩行者デッキ、駐輪場といった施設との相乗効果も発揮され、定住人口の増加や税収の増にもつながるものと期待されます。

桑原地区についても、平成19年に「桑原地区市街化構想の早期実現」に向けた請願が市議会に提出、採択されて以来、

地権者の皆さまの開発への期待が大きいところ

でしたが、昨年末に事

業協力者も選定され、平

成30年度内にも準備組

合を設立しようという

動きとなっているよう

です。市街化区域への編入

といった手続き面での丁

寧な準備も必要ですが、一

定時間はかかりますが、地

権者の皆さんにとっても、

農業経営に代わって安定

した土地利用が可能にな

るといふメリットもあり

ますし、大型商業施設が

開設されますと数千人単

位での雇用が見込まれ、

若い世代の定住化も促

進されることと思えます。

さらに、68ヘクタールと

いう大規模な商業事業

用地が開発されることに

よって、市にもたらされ

る固定資産税を初めとし

た税収は財政運営上大き

く貢献することになると

期待されることとです。

私は平成19年に着任し

て最初に作った市長の名

刺に、「躍動する取手へ」

のフレーズを印字しまし

た。いよいよ、「民間の力

」も得て「新たな躍動」が

見えてきたとの感慨を覚

えるとともに取手市の皆さ

まに心より感謝申し上げ

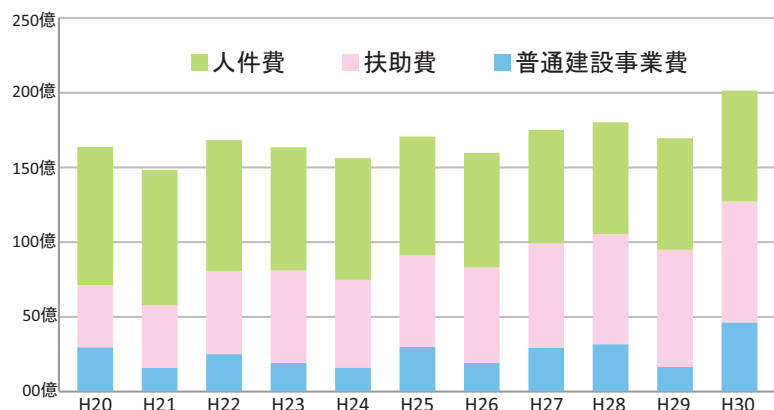
たいとの思いで平成30年

度の当初予算の策定をい

(出典:総務省 住民基本台帳人口移動報告)

	転入者数 (人)	転出者数 (人)	転入超過数(人) (転入者数-転出者数)	転入超過数 県内順位 (県内44市町村)
H29年(2017)	3,253	3,259	-6	13位
H28年(2016)	3,154	3,346	-192	27位
H27年(2015)	3,446	3,464	-18	11位
H26年(2014)	3,324	3,280	44	8位
H25年(2013)	3,285	3,479	-194	24位
H24年(2012)	3,190	3,716	-526	43位
H23年(2011)	3,350	3,991	-641	43位

<表> 取手市の転入超過数の推移及び県内順位



<図②> 人件費・扶助費・普通建設事業費の推移(一般会計)

小中学校耐震化100%を実現!

取手市の小中学校の校舎(体育館を含む)のほとんどは昭和56年度以前に建築されているため耐震基準に合致しておらず、平成17年3月に合併した取手市にとって、学校の耐震化は最重要課題でした。年次計画に基づき耐震化ならびに大規模改造工事を毎年3校程度行ってきましたが、平成29年度の久賀小学校、六郷小学校、山王小学校の耐震改修・大規模改造工事により、3月までに小中学校校舎、体育館の耐震化100%を実現することができました。大規模改造を見送り耐震化を先行させた6校については今後、大規模改造を進めます。また、平成27年度と28年度の2か年をかけて全小中学校の普通教室、特別教室にエアコンを設置しました。平成17年度から平成29年度までに投じられた学校整備費用は、98億円、通学路整備費用を含めると103億円となります。

保育所の改築も進めています

一、公立保育所についても、順次、改築を進めています。

○平成19年 久賀保育所、建設費3億6千万円

○平成20年 永山保育所、建設費2億8千万円

○平成32年1月開所予定

井野なないろ保育所・地域子育て支援センター

老朽化した吉田保育所、舟山保育所、東部子育て支援センターを統合して広い園庭と雨に濡れずに送迎できる庇のある斬新な施設が完成します。

二、民営化した保育園も、新施設への建て替えが進んでいます。

旧井野保育所(平成24年民営化) ↓平成25年 たかさごスクール竣工

旧稲保保育所(平成23年民営化) ↓平成27年 稲保保育園竣工

民営化した事業者が建物を建て替える場合、市が直接建て替える場合と異なり、国費による補助があるため、市からの補助を加えると事業者負担は国が定めた基準的な工事費の4分の1で済むというメリットがあるため、民営化による施設の改修も有効な手法となります。

久賀小学校耐震・大規模改造工事



高井小学校体育館改修工事



六郷小学校トイレ改修工事



平成30年度「取手新時代をひらく会」主要活動計画の紹介

去る1月20日の「取手新時代をひらく会」総会で決定された平成30年度の主な活動計画について紹介します。

①「藤井しんご支援者の集い」の紹介
6月2日(土)に取手ウエルネスプラザ多目的ホールにて開催します。支援者の集いでは、市長の市政報告を行うとともに市長との歓談・交流を行います。4月に改めてご案内申し上げますので誘い合わせのうえ多数のご参加をお願い致します。

②「レディース藤の会」の開催
9月中旬頃に、藤井しんごを支援する女性の皆様と藤井市長・めぐみ夫人による歓談の会を開催します。当日は、「取手新時代をひらく会」役員も参加するとともに皆様に楽しんでいただく好評のイベントも予定しています。

③しんご通信の発行計画と購読料納入のお願い
しんご通信は、藤井市長の市政方針と施策内容などを多くの関係者の皆様にお伝えするとともに、市民活動の紹介、市長を支援する「取手新時代をひらく会」の活動紹介・報告等を行う広報紙です。年3回発行予定で、今年度は第52号(本号)を3月31日、53号を6月下旬、54号を10月下旬に発行を予定しています。本号の発送とともに年間購読料の納入用紙を同封しますのでご協力頂きますようお願い致します。

「取手新時代をひらく会」幹事長 池田徳光

訂正とお詫び

しんご通信51号の記事の中で、市長の陳情活動紹介の写真タイトル「上月良祐参議院議員への陳情活動」とするべきところを、上月了祐参議院議員と印刷したことを本誌を以て訂正のうえお詫び申し上げます。

編集後記

しんご通信52号では、平成30年度予算に対する市長の思いと、これからの取手の「未来づくりの指針」の具現化である民間の力の参入による街の活性化の事例を取り上げています。

藤井信吾の新ホームページが三月下旬には開設されますのでその一部を本号で紹介しました。是非一度ご覧いただきたいと思います。市長を支援する「取手新時代をひらく会」では、今年も多くのご活動・イベントを計画しておりますので皆様のご支援・ご参加をお願い申し上げます。

編集長 池田徳光

情報満載のホームページに一新!

検索または Web アドレスを入力
入力して、クリック
藤井信吾 取手市長
藤井しんご 取手新時代をひらく会
http://www.fujii-shingo.com

さくらちゃんのためのQ&A

⑤ Q: 「取っ手もい〜とこ」とてもいいとこと読むの、3分ほど考えちゃった。アルバムもいいネ、投稿しよう!!
A: この写真を年に1〜2回変えたいと思っているんだ。しんご通信の購読者の皆さん投稿をお待ちしています。

④ Q: 健幸都市への取り組みモデル都市取手はうれしいネ!
A: 持続可能都市の大きな成立要件なんだ。数値にも現れているよ、節約できた経費は積極的に若者の将来に投資しているんだ。

③ Q: ワッ!すごい「空の神殿」カッコいいネ!
A: 藤代スポーツセンター前にあるんだ。「空の神殿」そんな感じがするね。これがトップページで、その内容を紹介しよう。

① Q: ホームページ かわったの?
A: 藤井市長の市政報告などを皆さんに知ってもらいたくて平成25年に開設したんだ。その後、実績が増えてきたので、今回新しいホームページに作り替えたんだよ。

② Q: 藤井信吾のホームページを見つけるにはどうすればいい?
A: 電子メールのやり取りに必要なInternet ExplorerやOutlook Express、Googleを起動させるんだ。Explorerの場合を紹介するよ。スマホでもアプリがあれば見つけられるから挑戦してみてネ!

東京藝大生による酒樽作品、市内の至る所に芸術作品あり。市長賞作品がネットで鑑賞できます。

中央団地を「銀杏坂」並木へと変

最新情報 藤井市政の実績(1)

Smart Wellness City in TORIDE

持続可能な都市づくりを目指す取手市は国民健康保険加入者一人当たりの地域差指数が県内で最も、全国平均を1とした場合 H26年 0.15ポイント低く
1人当たりの医療費は H26年の場合、全国平均額の321.9千円に対して302.4千円と低減です。

65歳以上の介護認定率は、H26年が12%台で推移、国の17.9%、県の14.8%も下回る健幸都市でもあります。

見たいところをクリック、市政の実績を覗き見しよう。

現下の課題と時代潮流に挑戦します

ごあいさつ
取手新時代をひらく会代表 藤井 信吾